

平成24年5月

油津港大型客船入出港に伴う船舶航行安全対策調査専門委員会

1 委員会報告書概要

本委員会では、油津港第10号岸壁への75,000GT級大型客船の入出港及び係留の安全性について、昼間の入出港を前提として調査検討し、必要な航行安全対策をとりまとめた。

入出港の安全性については、アプローチ操船、回頭操船、着離岸操船の各操船局面について、ファストタイム操船シミュレーション手法により、船体に作用する風圧力等の外力影響を調査検討するとともに、岸壁の防舷材吸収エネルギーを調査し、75,000GT級大型客船の許容接岸速度等を検討して、安全な入出港が可能な気象・海象の外力等の条件について提案した。

また、係留中の安全性については、OCIMFの計算手法を用いて安全に係留可能な条件を検討するとともに望ましい係留方法を提案した。

2 調査等概要

- (1) 大型客船入港計画の概要
- (2) 航行環境
- (3) 基礎検討
- (4) 補足資料
- (5) 入出港操船の検討
- (6) 係留の検討
- (7) 航行安全対策